

新晃工業

工期短縮・コスト削減 社会貢献活動にも活用

室外機一体型ヒートポンプ空調機「オクージオ」

新晃工業（本社・大阪市北区、社長・末永聡氏）の「オクージオ」は、外気処理に適し、設置スペース・省施工に優れた室外機一体型ヒートポンプ空調機。定格風量二千から五千百三十一立方尺/時まで六サイズを標準ラインナップしている。

現場では本体の設置工事と電気配線/ダクト施工工事のみで使用でき、施工期間も居室に設置する「ワイヤードリモコン」から簡単に発停/温度設定/冷暖切替えができ、「遠方信号」との併用も可能。利用者にとっては運用の幅が広がる。

高効率ブラッグファンの採用により、ランニングコストの低減に加え、高機外静

圧（最大八百パスカル）にも対応できる。工作機械の並ぶ広い工場においても、高い機外静圧により高速気流を吹出し、点在する遠方の作業者に快適な空気質を届けることができる。

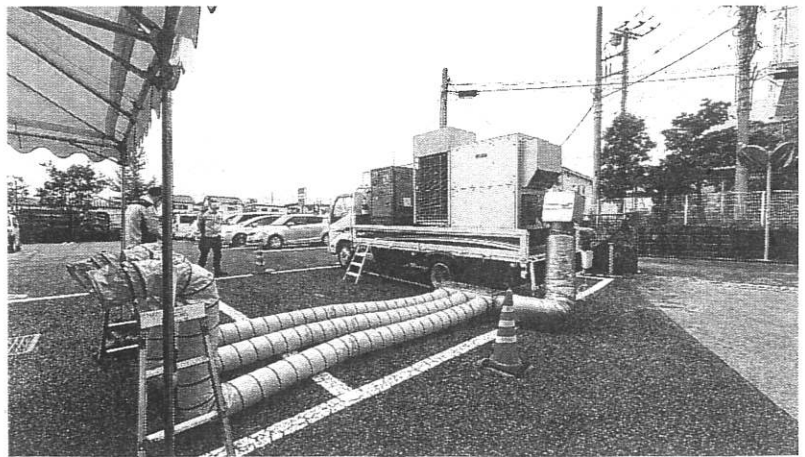
一般的な空調機に採用の多いシロッコファンはブラッグファンに比べ静圧効率が低く、本体の吹出し方向が一方方向に限定されるため、ダクト設計（ \parallel 空気調和機の設置場所）に制約を受け

は、「吹出し方向（側面/背面）」、「空気調和機勝手（L勝手/R勝手）」が選択可能であり、設置場所の自由度が高い。建物の脇や屋上など限られたスペースはもろろん、隣接する壁高さの制限がないため、奥まった場所でも問題無く設置できる。

同社はこの「オクージオ」を活用し、社会貢献活動の一環として、災害時の避難所や野外イベントの救護室等に仮設空調設備一式を設置し、快適な環境を提供する支援活動「SINKO AIR CONDITIONING RESCUE（シンコウ エアコンディショニングレスキュー）」の運用を開始した。

五月に同社神奈川工場所在地である神奈川県秦野市と災害時応援協定を締結した。今後は、市主催の総合防災訓練への参画も予定し、地域と連携しながら支援活動を行う。

自社製品の優れた特徴を活かした社会貢献活動。新晃工業の新しい取り組みに注目だ。



秦野市との災害時応援協定締結式で行われたデモンストレーション